

アイレックだより

女性の「メンロ」からからだの講座

生涯を通じて、ホルモンバランスが大きく変化する女性が、自分の身体や心の健康についてあらためて考えるきっかけとなるような講座を実施しました。

第1回 6月1日(水)

「性差医療」から考える
「女性の健康」

講師：天野恵予さん
(野中東睦会
静風荘病院顧問)

お話は、まず、ご自身の女性ならではの病の体験談からでした。テーマを身近に感じることができ、とてもすばらしい講演でした。

「性差医療」とは、からだの仕組みも構造も違う、男女のそ



お話される天野さん

れぞれに特有の病気のメカニズムを医学的に解明し、社会的な男女の地位と健康などに関する研究を進め、その結果を診断や治療法、予防措置などに反映することを目的とした医療改革です。特に女性は、生涯を通じてホルモンバランスが大きく変化するため、男性とは違った医療対策が求められます。女性特有のさまざまな症状、たとえば、閉経年齢にある女性が、胸の圧迫感や痛みを訴えても「原因不明」または、更年期障害として我慢することが多かったのですが、性差医療の立場から見直されるようになりました。

こうした「性差医療」の発端は米国です。日本では、1999年にはじめて天野さんによって紹介され、その概念は多くの医師の賛同を得ました。そこで、女性の特性をきちんと踏まえ、性差を考慮した医療の実践の場

として「女性外来」を展開することにしたことです。「女性医師が担当する」「初診は30分間は確保」などを指針とした「女性外来」は、今では47都道府県すべてにあり、今も増え続けています。今後も性差医療を担当する医師の養成、患者への情報発信を続けていきたいと講師の天野さんは述べられました。

内閣府の男女共同参画会議から出された、「第3次男女共同参画基本計画」においても「性差に応じた的確な医療である性差医療を推進する」と明記されました。

私たちの街清瀬にも、たくさん医療機関があります。「女性外来」がもっと身近になることを、願わずにはいられません。

ながら「家族の関係から自分の生きやすさ、生きにくさを見る」ということを、わかりやすく話されました。

家族内に何か困難なことが起こった場合、それぞれがよかれと互いに解決しようとする行為が、悪循環を生み解決を阻むことがあるそうです。例えば、不登校の子どもと父母というケースでは、原因探しや「育て方が悪い」などの犯人探しをしがちですが、これらはほとんど無意味のこと。妻が、夫と子どもの両方に変え、まず、子どもと向き合う。こうした小さな変化をきっかけに、家族の関係が変化し、家族一人ひとりの変化につながっていくとのことでした。

妻にも、また、夫にもそれぞれ事情があり、親の介護をめぐって双方の意見が対立することがあります。そうした場合には、夫と妻が、互いに事情を聴き合い十分に話し合いを重ね、ゆずり合いすり合わせることを。人と人とは違いがあり、その違いは正誤ではなく、上下でもないとのことでした。

講師は講座の最後に、関係改善に役立つ技法として、リフレミングということを話されました。ものごとの事実を変えずに、その意味づけをポジティブなものに変える、枠組みを変えてみるということだそうです。

難しいかも知れませんが、そうした考え方ができたら人にも優しく、自分も楽になれるのではと思いました。

第2回 6月4日(土)

「人との関係」から考える
「女性の心」

講師：村瀬 敦子さん
(家族心理士)

講師は、家族心理士として、多くの相談を受けてきた経験を踏まえ、いくつかの事例を示し

新婚夫婦を巻き込んだ双方の親世代とのトラブルを解決していくには、夫と妻がそれぞれ、それまでの縦の親子関係から夫婦の新しい水平な関係をつくること、あわせて、双方の親との間にオープンで風通しのいい境界をつくることのふたつが必要、世代間の境界をうまくつくっていくことが大切とのことでした。



講座のようす

アイレックサポーターの紹介

「女性と男性が平等な立場で協力し合い、互いに生きやすい社会を作っていく」これがアイレックサポーターの活動目的。清瀬市男女共同参画センター（アイレック）には、いろいろなチームがあり、アイレックサポーターとして、活動・情報発信をしています。

図書チーム

図書チ

ームのメンバーは現在5名。

アイレックが所蔵する書籍の分類・



図書コーナー

整理に加えて、新着図書の紹介や、女性広報誌「Ms. スクエア」で取り上げた本を案内する掲示物の制作などを行っています。現在、蔵書は約1530冊。女性史、女性論、男性論、労働問題、女性政策、高齢者問題、エッセイ、文学など16項目に分類し、項目ごとに書棚を色分けして本を選びやすくしました。

また、本にも色分けシールを貼

りましたので、棚に戻すときに活用ください。アイレックでは市立図書館同様に本をかりることが出来ます。また、交流コ

ーナーでは、休

館日（月曜日）

を除いて土曜日・

日曜日、祝祭日、

夜間でも読書が

楽しめます。気

軽に利用してま

せんか。

本をかりるには

かりられる日 火～金曜日
（土・日・月曜日、祝祭日、年末年始はかりることができません）
かりられる時間 午前9時～午後5時
図書館利用カードが必要です

保育チーム

子どもがいても安心して参加できるように、アイレックの事業には、全て無料の保育が付いています。保育室は、入口に入っ

すぐ右手、カーテンも新しくピ

ンクに変わり、とても明るい感

じで、大

きな窓か

らは電車

も見えま

す。絵本

やおもち

やがたく

さんあり



壁面装飾のある保育室

ますが、使ったおもちゃは片付ける、むやみに持ち込まないなども大切だと思います。

保育チームは、子どもたちが

安心して過ごせるよう、季節にあった壁面装飾をしたり、安全な遊具や絵本などを揃えたいと思っています。

以前作った牛乳パックのイスを、保育チームと、アイレックの講座から生まれた「NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ」の大勢の会員が、2日ばかりで新しくしました。

子育て中のお母さんたちや地域で活動する先輩たちは、いろいろなスキルやネットワークを持っていますので、楽しみながらサポーターができるかもしれ

ません。ぜひ一緒に活動してみませんか？お待ちしております。

交流チーム

私たち「交流チーム」は、月1回（月末が多い）、3人のメンバーが集まっています。



切り抜き展示ボード

そしてそれぞれ購読紙の中から「アイレック」の趣旨に沿った新聞記事をピックアップして切り抜きボードに展示しています。

記事を通してみると「男女雇用機会均等法」から四半世紀が過ぎ「男女共同参画社会」の理念も浸透してきたようです。しかし、リーマンショックにより右

肩上がりだった経済がおかしくなり、これが落ち着いたと思ったら、東日本大震災。社会情勢は激変し、記事の内容も変化しています。残念ながら切り抜きたい記事は減りましたが、DV

の記事は、相変わらず多く見かけます。また、男性が子育てに関わる「イクメン」は、一般的になったようです。

地味な作業ですが、アイレックに立ち寄った皆さんに読んでいただき「交流」できたら嬉しいのですが……。新しいメンバーも募集しています。

イベントチーム

アイレックにおいて、年間を通して開催される講座の企画と進行を行うことが、私たちイベントチームの役割です。

月1回の定例会では、事務局とメンバーとが、テーマに基づ

いて講座の主旨と内容、そして講師を検討しています。時代や世相を踏まえ問題提起したいこと、身近に起きている不安や疑問、あるいは専門家の知識をもとに掘り下げてみたいテーマなど、メンバーそれぞれが日常生活の中で気づいた想いをぶつけ合いながら、ジェンダーの視点から絞り込んでいきます。

講座の司会進行や講座終了後のフィードバックも大切です。

特にフィードバックは次回のテーマへの気づきや、新しい取り組みへのもともになります。イベントチームではこれからも多く、多くの皆様に参加いただけるような講座を企画したいと考えています。「こんな講座を企画して！」

「〇〇さんの講座に参加してみたい！」そんな声をお待ちします。



司会を担当するチームのようす

以上の4つのほか、PR、記録、その他のチームもあります。興味・関心を持たれた方、ぜひ男女共同参画センター事務局までご連絡ください。

清瀬市男女平等推進条例

(平成18年7月1日施行)

5つの重要な柱 (基本理念)

1. すべての人が個人として人権を尊重され、自分らしく生きることが保証されること
2. 性別役割分担にとらわれず、自己の意思と責任による多様な生き方が選択できること
3. 女性も男性も家庭生活と社会活動の両立ができるような環境をつくること
4. 女性が社会のさまざまな領域でもっと企画や活動方針を決定する場に進出すること
5. 互いに性を理解し尊重し合い、性に基づいた健康が生涯にわたり維持されること

Information

編集後記

■特集「絵本大好き」で、絵本からの奥深い、あたたかい気持ちを感じました。たくさんの方が絵本を手にする時間を持って、心豊かになつてほしいものです。(安達)

■「被災地の子どもたちに絵本を」と心温まる記事をたくさん目にしました。この子た

■文章の学習をさせていた

■今回のいろいろな絵本にふれて遠い記憶がよみがえりました。そして、ほつと心が温かくなる思いをしました。(木下)

■この笑顔が消えることのないよう私達人人がみんなですくすく行かねばと強く思いました。(伊藤)

■絵本大好き！絵本を通して子どもの肌のぬくもりや吐息のやさしさを感じられるから。さまざまな種類の絵本をこれからもたくさん読んでいきたいと思いました。(平川)

■だいています。学生以来のことですが、楽しく参加させていただいています。(下神)

次号73号の発行は2011年12月1日です

Ms. は女性を総称し、スクエアは広場や広報を意味しています。
アイレック (ILEC) とは、
Information (情報) ・ Learning (学習)
Exchange (交流) ・ Consultation (相談)
の頭文字をとった「清瀬市男女共同参画センター」の愛称です。

発行／清瀬市男女共同参画センター
発行日／平成23(2011)年8月1日
企画・編集／清瀬市男女共同参画センター
〒204-0021 清瀬市元町1-2-11 アミュービル4階
☎042-495-7002 FAX042-495-7008
女性広報誌「Ms.スクエア」編集委員会
編集委員／安達京子／伊藤もつこ／木下由子
／下神あき子／平川ちひろ
イラスト／平川ちひろ
表紙の写真／清瀬の自然を守る会

表紙の木の撮影場所 モクゲンジ…柳瀬川
ネムノキ…柳瀬川
サルスベリ…中里3丁目 渋谷家

アイレックからのお知らせ

DV防止講座 (全3回)

DVのない社会へ向けて

ドメスティック・バイオレンス (DV) とは？なぜ起きるのか？その実態と支援についてなど3回講座です。参加費は無料。
詳しいことは、市報8月1日号をご覧ください。

第1回 気づいていますか？身近にあるDV
8月27日(土) 午後2時～4時
講師：信田 さよ子さん(原宿カウンセリングセンター所長)



パープルリボン運動
女性に対するあらゆる暴力をなくすことを目的とする国際的な啓発運動

第16回 アイレックまつり(予定)

10月8日(土)	午前10時～12時 アミューホール(アミュービル7階)	午後2時～4時 アイレックホール(アミュービル7階)	午後6時～8時 アミュー会議室(アミュービル4階)
	【朗読】 「石垣 りん」をよむ	【映画】『無名の人』 ～石井筆子の生涯～ 日本/2006/87分 資料代 500円	【話し合い】 防災対策のススメ ～女性の視点から～
10月9日(日)	午前10時～12時 アイレック会議室(アミュービル4階)	午後2時～4時 アミューホール(アミュービル7階)	午後6時30分～8時 アミューホール(アミュービル7階)
	【講演】 うそもホントも混ざる 「食の情報」を見極める 講師：高橋 久仁子	【講演】 夢をとうよ みんなの力で ～貧困・格差・無縁社会をどう生き抜くか～ 講師：湯浅 誠	【音楽の夕べ】 演奏：清瀬管弦楽団

バザー並びに登録団体展示
会場：アイレック交流コーナー (アミュービル4階) 日時：8日(土)、9日(日)

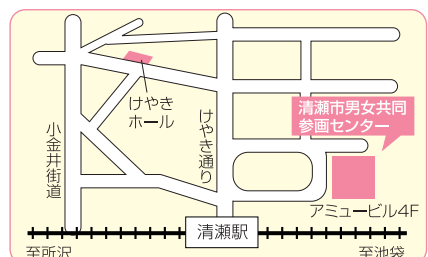
バザー用品提供のお願い

アイレックまつりで、実行委員会主催のバザーを行います。
ご家庭に眠っている物品等がありましたら、バザー用品としてご提供をお願いします。
受付場所 男女共同参画センター (アイレック)
期 間 9月30日(金)まで
品 目 家庭雑貨(タオル・シーツ・石鹸・台所用品・食器)・日用雑貨・衣類
原則として未使用の物に限らせていただきます。食品類はご遠慮ください。
※バザーの売上金は、アイレックまつりの運営に伴う費用として活用させていただきます。
問 合 せ 男女共同参画センター ☎042-495-7002

「Ms.スクエア」の音訳CDを作成しています。
ご希望の方は、男女共同参画センターへご連絡ください。

皆様の声募集中

「Ms.スクエア」は公募による市民の編集委員たちが企画編集して発行している情報誌です。72号はいかがでしたか？ご意見、ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、郵送・FAXでアイレックまでお寄せください。



「Ms.スクエア」はシルバー人材センター(☎494・0903)会員がお届けしています

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています